

講義名	コーチング論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	内田 遼介		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
備考			
主題と概要			
<p>本講義では、アスリートを指導する際に大切となるコーチングの知識について幅広く学ぶ。具体的には、コーチングの理念や哲学といった指導者を志すうえでの基礎となるトピックから、実際の指導場面において重要となるトレーニングの組み立て方やアスリートの健康など実践的なトピックまで幅広く解説する。講義の後半では、特定のスポーツ指導者を各自で選んでもらい、当該指導者がいかなる点で優れているのかについて考察することを求める。</p>			
到達目標			
<p>実際に活躍しているスポーツ指導者について、何が優れているのかコーチングに関する理論や知識から説明することができる。コーチングに関連する理論や知識を自らの実践活動に活かすことができる。</p>			
提出課題			
<p>プレゼンテーション資料の提出 各回の講義に対する感想・質問の提出</p>			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>毎週、講義の感想を記入してもらうとともに、講義内容に関する質問を提出してもらい、質問については、翌週の冒頭5分程度を使って詳しく解説する。</p>			
評価の基準			
<p>講義への参加態度（30%） 講義後半でのプレゼンテーション（30%） 期末試験（40%）</p>			
履修にあたっての注意・助言他			
<p>授業計画は進捗状況次第でやむを得ず変更する可能性がある。その場合は事前に受講学生へ連絡する。</p>			

教科書
.使用しない。
プリント資料及び参考文献
<p><プリント資料> 講義に必要な資料は当日配布します。 <参考文献> 平野裕一・土屋裕睦・荒井弘和(共編)(2019). グッドコーチなるためのココロエ 培風館</p>
授業計画
<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション コーチングの理念・哲学 コーチングにおける倫理 対自分力と対他者力(1): スポーツ指導者のセルフコントロール・コミュニケーション 対自分力と対他者力(2): コーチングとリーダーシップ コーチング: 技術トレーニング、体カトレーニング コーチング: メンタルトレーニング アスリートの健康(1): 食事と栄養、サプリメント、アスリートの休養・睡眠 アスリートの健康(2): アンチ・ドーピング 現場のマネジメント(1): 発育発達に合わせたコーチング 現場のマネジメント(2): コーチングにおけるリスクマネジメント 優れたスポーツ指導者の特徴について考える プレゼンテーションに向けた情報収集 プレゼンテーション(1) プレゼンテーション(2)、総括
授業形態（アクティブ・ラーニング）
<p>ア: PBL（課題解決型学習）</p> <p>イ: 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p> <p>ウ: ディスカッション、ディベート</p> <p>エ: グループワーク</p> <p>オ: プレゼンテーション</p> <p>カ: 実習、フィールドワーク</p>
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p><予習> 毎回講義終了後に、次週の予告と講義内容に関するキーワードを提示するので、各自そのキーワードを参考に関連図書などを通じて予習しておくことが求められる（2時間程度）。</p> <p><復習> 講義終了後に講義中に学習した内容について再度確認して整理しておくことが求められる（2時間程度）。</p>
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>クリッカー（Respon）を使って、講義中に紹介した内容に対して意見を求めたり、理解度テストを行ったりする予定である。</p>
実務経験の有無及び活用
なし
備考
なし